



宍道高校図書館だより〈地域版〉

2023 年
5月22日発行
令和5年度第2号

この「図書館だより」は、宍道高校ホームページでもご覧いただけます。

URL(アドレス)は <https://www.shinji-h.ed.jp> です。

夏も近づく八十八夜 新茶の季節です

山々の緑が色濃くなり、美しい季節になりました。町内でも田植えが終わり、植えられた苗が風にそよぐ様子や蛙の鳴き声に心が和みます。農家の皆さま、お疲れさまです。

さて5月といえば、八十八夜、新茶の季節です。私も指先を真っ黒にしながら茶摘みをしたものです。

松江はお茶処、お菓子処として全国的にも有名です。そこで、今回は日本茶にまつわる本と茶処・松江を生んだ不昧公の本をご紹介します。

『ぼくが恋した日本茶のこと 青い目の日本茶伝道師、オスカル』ブレケル・オスカル著

日本茶との出会いが彼の人生を大きく変えました。日本人の多くが気づいていない日本茶の魅力をスウェーデン人のオスカルさんが教えてくれます。島根の番茶のことも少しですが、載っています。

『日本茶の事典 淹れ方・楽しみ方・文化がわかる』

お茶の種類やそれぞれにあった淹れ方はもちろん産地や製造工程、楽しみ方、日本茶のレシピなども紹介されています。日本茶の奥深さが感じられる本です。松江の「ぼてぼて茶」も紹介されています。

『お茶の殿様 松平不昧公』『不昧公と茶の湯』

不昧公の生涯からお茶文化が育っていく様子が見えてくる一冊です。

このほかにも茶道の本やコーヒー、紅茶、世界のお茶の本、お茶のおともの和菓子の本もありますよ。

「お茶」からいろんな世界へ興味が広がりますね。「茶飲み話」にいかがですか。

宍道高校図書館は地域の皆様もご利用になれます

利用できる方

宍道町内在住の18歳以上の方

(登録時に住所等を確認できるものがが必要です。)

利用できる日時

月曜～金曜 午前10時～午後4時

- ・学校行事等のため利用できない場合もあります。
- ・事務室で受付をしてからご来館ください。
- ・**来校者の名札** をつけてお入りください。

貸出 一人5冊まで2週間 借りられます。

お問い合わせは

宍道高校 (TEL. 0852-66-7577)

図書館 渡部まで

6月の地域開放予定日

変更する場合があります

利用できない日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

利用できる時間:午前10時～午後4時

2, 7, 16, 30日は午後1時まで

事務室前の返却ポストは、

平日の午前7時半～午後7時まで

新着図書案内

生き方

○ソロ活女子のススメ (大和書房)

○齋藤孝読めば道は開ける365日一日

一言 (世界文化ブック)

日めくりカレンダーのようにして、365日、気軽に出合える生きるヒントが詰まった言葉。

地理・社会

○世界いちばん素敵な地理の教科書日本編

(三オブックス)

誰かに教えなくなる「地形」「地図」「地名」の謎。

○常識なのに！大人も答えられない都道府

県のギモン (宝島社)

ネプリーグの解説でおなじみ村瀬先生が、大人も知っておきたい日本地理の知識を楽しく紹介。

○聞く技術聞いてもらう技術 (筑摩書房)

カウンセラーが教える、コミュニケーションの基本にして奥義。読んですぐ実践できる。

○異端の福祉「重度訪問介護」をビジネス

にした男 (幻冬舎)

重度障害や難病があっても“自宅で暮らす”を当たり前の選択にするために重度訪問介護サービスの全国展開に挑んだある社会起業家の軌跡。

雑学・実用・趣味

○はまると深い！数学クイズ (講談社)

直感力・思考力を磨く

○家族でそなえる防災・被災ハンドブック

(イースト・プレス)

梅雨前に少し意識しておきませんか。

○全201カ国&地域おうちで作れる世界の

おやつ (廣済堂出版)

○世界のお菓子図鑑 (地球の歩き方)

113の国と地域&47都道府県のローカルおやつを食の雑学とともに紹介。

○池田暁子の必要十分料理 (トランスビュー)

料理が苦手な著者が試行錯誤してたどりついた自炊生活のコツを伝授。

○使い切れない農地活用読本 (農文協)

荒らさない、手間をかけない、みんなで耕す。事例とともに紹介。農地制度の基礎知識もあり。

日本の小説

○スター 朝井リョウ/著 (朝日新聞出版)

新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した尚吾と紘。2人は名監督への弟子入りとYouTubeでの発信という真逆の道を選び…。

○うたかたモザイク 一穂ミチ/著 (講談社)

甘い出来事も、苦い経験も。いろいろな味が楽しめるから、人生は美味しい。13の物語。

○君に光射す 小野寺史宜/著 (双葉社)

教師を辞め、夜勤の警備員になって3年。立ち止まっていた僕を動かしたのは10歳の少女だった。

○やさしさを忘れぬうちに

川口俊和/著 (サンマーク出版)

「コーヒーが冷めないうちに」シリーズ最新刊

○はるか、ブレーメン 重松清/著 (幻冬舎)

人生の思い出をめぐる、謎めいた旅行会社に誘われた16歳の少女のひと夏の物語。

○魔女と過ごした七日間

東野圭吾/著 (KADOKAWA)

AIによる監視システムが強化された日本で、不思議な女性・円華に導かれ、父を亡くした少年の冒険が始まる。「ラプラスの魔女」シリーズ最新刊

○いのちの十字路 南 杏子/著 (幻冬舎)

金沢のまほろば診療所でドライバー雑用係のアルバイトをしていた野呂聖二は、医師国家試験に合格し、診療所に戻って来た。「いのちの停車場」の続編。

○よき時を思う 宮本輝/著 (集英社)

90歳の記念に祖母が計画した、家族のための豪華 絢爛な晩餐会。そこに秘められた祖母の思い。孫の綾乃は祖母の生涯を辿る。

○街とその不確かな壁 村上春樹/著 (新潮社)

その街に行かなくてはならない。なにがあろうと。〈古い夢〉が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された“物語”が深く静かに動きだす。6年ぶりの長編。

日本のエッセイ・ルポ

○ぼくが発達障害だからできたこと

市川拓司/著 (朝日新聞出版)

○あなたを応援する誰か

ソン ミファ/著 (辰巳出版)